



むらさん

第15号

発行者

山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会

印刷

中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700



伊藤秀昭先生叙勲式



入学式



対面式



部活動紹介



甲子園県予選



新入生宣誓

令和三年度、新型コロナウイルス感染症拡大もまだ収束する兆しがない中、本校での学習活動や部活動、更には各種発表会や大会等も、様々な制約はあるもののなんとか実施することができております。

開校八年目になる本校の今年度のテーマは、「学びと社会がリアルにつながる！」村産だからできるSDGsへの挑戦」としました。昨年から新聞等で多く取り上げられ



開校八年目を迎えて

校長 青柳 晴雄

てきた本校ならではの幅の広いチャレンジとグローバルな視点での実践が、地域からも高い評価を得ております。

私たちは皆様との連携・協働を通して、一人一人の生徒を大切に、それぞれの持つ能力を最大限に伸ばす学校、卒業時に「入学させて良かった」と言っていただけのような学校を目指しております。ぜひ、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



トライアングルで

PTA会長 金子 一志

令和三年度、PTA会長を拝命しております、金子一志と申します。保護者の皆様、先生方には、PTAの活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

今年度はコロナ禍が二年目となり、感染予防を徹底した中で、学校生活が始まりました。県内でも感染者数の増減がありながらも、各種大会やコンクールが行われ、生徒の皆様のを発揮する場面が多々あり、入賞や高校総体で

の活躍も素晴らしい事ですし、誇りであります。また、農業、工業、商業の三学科が、それぞれの力を合わせ、活かし、広める事が出来る、他にはない魅力一杯の生徒達、そして学校を、私達保護者を始め、先生方と、地域の皆様にもつながって頂いて、共に育ち、共に感じ、子ども達が素晴らしい三年間を過ごせるように、大きな心と、大きな手で支えていきたいと思っております。フレイフレー村産!!



生徒会長 安達 悠人

昨年から世界中にその猛威を振るう新型コロナウイルス。我々村産生徒会は活動が制限される中どうしたらよりよい学校にできるのか考えながら活動してきました。

委員会の再編成を行い、委員会との関係を密にする。それによって、行事の活性化、スムーズな進行を可能にしました。クラスマッチでは、体育委員会と協力し、最高のクラスマッチができました。

また、例年行ってきた「ともしびプロジェクト」では、被災地の方々にエールを送ることを目的にし、新聞にも取り上げていただけるような良いプロジェクトにすることができました。常時活動である朝の挨拶運動は、このような御時世であるので行うことができませんでしたが、放送で行うなどの工夫を凝らし、コロナ禍でも明るく元気な学校を作っていきます。これからも新しいことに積極的にチャレンジし、よりよい学校にしていこうために生徒会全員で力を合わせて活動していきます。よろしくお願いします。

生徒会副会長 柴田 梨奈

今年の生徒会メンバーはとも元氣な人が多いです。そのため、イベントの準備から片づけまで全力で楽しんでいます。

クラスマッチでは、新型コロナウイルス感染症の影響で、マスクを着用する、体育館の人数制限などもありましたが、このような時期でも楽しめるように準備や計画を行うことができました。クラスマッチ当日も生徒全員が楽しんでスポーツを行っていたように見えました。

私たちは、村山産業高校の生徒全員が生活しやすい環境を作ること目標にしています。そのため意見箱を増やしています。また、正しい服装で生活できるようにポスターの作成にも力を入れています。これからも全員が生活しやすい工夫を生徒会や先生方と話し合っ、少しでもよりよい環境になるように頑張ります。また、村産の活動を地域に広めることにも力を入れていきます。

生徒会副会長 土屋 昌大

自分は、生徒会副会長として自覚を持ち、そしてこの学校をよりよい学校にしてい

ために、全校生徒の意見を取り入れ、皆さんが「村産に入學して良かった」と思えるような学校づくりをしていきたいと思っています。

そのために、あいさつ運動に力を入れ、生徒会役員一人一人が手本になるよう活動していきます。

これらのことに力を入れ、充実した生徒会を目指します。一年間、よろしく願います。

議長 佐藤 幸亮

昨年、滝口会長を軸とした二〇二〇年生徒会では、コロナウイルスの影響を直に受け、活動が制限されていた。今もなお、制限が続くものの、安達会長を始めとする沢山の人が、昨年の反省を活かしてコロナウイルス禍だが、「だからこそ」をモットーにできる活動を展開している。

その中で、私は生徒会議長として、いかに聞き取りやすいアナウンスができるか、いかにスムーズな進行ができるか考え行動している。

限られた時間と動きの中、生徒会が活動できる幅を増やし、村山産業高校の更なる活躍の足がかりになることができれば良いと思う。

副議長 山方姫華瑠

生徒会副議長の二年山方姫華瑠です。生徒会では、行事の運営やあいさつ活動等を行っています。副議長は目立った役職ではありませんが、やりがいを感じられます。クラスマッチでは会場準備に携わり生徒会としての仕事を全うできました。生徒総会ではスムーズに生徒からの意見をまとめることが出来、慣れない議長の役割でしたが、円滑に進めることができました。

新型コロナウイルスの影響で生徒会としての活動が制限されていますが、これまでよりも村山産業高校をより良くする活動をしていきたいです。これからも村山産業高校生徒会をよろしく願います。



農業経営科

農業経営科では現在、『花ひかりプロジェクト』と『食酢の活用による農産物の高品質化』をテーマとした研究に取り組んでいる。

『花ひかりプロジェクト』は、本校の前身である村山農業高校で四十年ほど前に育種された酒造好適米の山酒四号を生産し、地元の酒蔵である株式会社六歌仙様の協力を得て純米吟醸酒『花ひかり』として商品化する取組みであり、今年で五年目を迎えている本校の象徴的なプロジェクトとなっている。

『食酢の活用による農産物の高品質化』の研究は、今年で三年目を迎えている。食酢には殺菌作用のあることが知られているが、これをオウトウやラ・フランスに葉面散布することで、果実の肥大促進や糖度上昇に効果のあることが調査の結果証明されてきた。

今年度はリンゴでも実施しており、その成果が楽しみである。



農業環境科

農業環境科は、森林管理や農業土木について学ぶ緑地保全コースと、草花の栽培やフラワーアレンジメントについて学ぶ緑化技術コースがあります。緑地保全コースでは、下刈りや間伐などの森林管理作業、シイタケやマイタケなどの林産物の生産、木材を活用した木工品の製作などを学びます。また、地元の建設会社や測量会社と連携した見学や出前授業が多くあり、実践的なことを学ぶことができます。緑地保全コースでは、花壇に用いる草花苗の生産やベニバナなどの切り花の栽培、花や観葉植物を用いたアレンジメントについて学びます。フラワー装飾や室内園芸装飾に関する技能検定を取得することにも力をいれており、外部講師を招いた連携授業も数多く実施しています。



機械科

新型コロナウイルスの影響により様々な計画を大きく変更した令和二年度であつたが、令和三年度は機械科の行事も予定通り実施できる状態となり、ここまで順調に進んでいる。現在、学科内の大きな動きとしては万能試験機の更新に向けた取り組みがある。四十年以上使用してきた万能試験機は限界に来ており、試験片のつかみ工具の劣化、データ記入用紙のロールの故障などにより、応力とひずみの関係を正しく把握できない状態にある。更新のための予算に目途が立ち年度内に新しい試験機が入る予定である。



年度の後半は、ロボットコンテストや課題研究発表などの「ものづくり活動」が活発となつて行く時期である。「ものづくり」を通して生徒たちへ喜びや感動を与えたいと思う。

電子情報科

昨年度から続くコロナ禍において、様々な制約がある中、ものづくりを中心に活動しております。第十六回若年者ものづくりコンテストWebデザイン職種において、三年青木大が山形県予選を通過し、愛知県で開催された全国大会に出場しました。また、三年木内拓哉が東京都で十二月に開催される第五十九回技能五輪全国大会Webデザイン職種に山形県代表として出場することが決まりました。本校から四年連続四回目の出場で上位入賞が期待されます。その他に、課題研究において、レーザー加工機で製作したタブレット端末固定用ボードを、地元の小学校に寄付する活動を行いました。

電子情報科では技能検定・電気工事士などの国家資格にも挑戦し、さらにはAIやIoT技術など、最先端技術の学びを通して新しいものづくり活動に挑戦していきます。



流通ビジネス科

四月、一年生二十六名が第八期生として三年生が中心となり企画運営をし、学科歓迎会を実施、感染症対策を行いながら、生徒間の交流レクリエーションを開催しました。しかし、サービスマン接客業を中心とする流通ビジネス科では、インターンシップ就業体験について残念ながら昨年に引き続き中止となりました。

三年生は進路目標実現に向け、積極的に学習に取り組み、多くの検定試験において一級を取得しました。併せて一年生においてもこの六月から実施されている検定において、資格取得に取り組み、努力することの大切さを学んでいます。二年生においては、資格取得のみならず情報処理の技術を磨き、電子商取引の授業では「地図をデザインする」の課題でPowerPointを用いて作成・掲示を行い、好評を得ています。



学級日誌から

1年O組

7月の水曜日 くもり

《生徒感想》

テストが終わり、いつもの日常に戻った1日目でしたが、みんな元気に登校してくる人が多くて良かったです。テスト返して中には叫んでいる人もいました。

《担任より》

テスト返却は一大イベントですもんね。自分も良い点数を取った時も、悪い点数を取った時も叫んでいたのが気持ちがわかります。皆さんの点数を楽しみにしています。

《コメント》

テスト返却は早くして欲しくもあり、して欲しくなかったりもしますね。

2年O組

6月の木曜日 くもり

《生徒感想》

今日からインターンシップが始まり、クラス的人数が少なく不思議な感じがしました。残っているみんながテスト勉強などに取り組み、分からないときには聞いてみるという姿勢がとても良いなと思いました。

《担任より》

みんな元気で働いているかな？終わってから部活に来ている人もいてえらいと思います。残っている人も頑張ろう！

《コメント》

新型コロナウイルスの影響はまだまだ続いていますね。様々な行事が変更、縮小していますが頑張ります。

3年O組

7月の火曜日 晴れ

《生徒感想》

今日は一学期最後の日でした。一時間は自習でしたが、各自宿題をしたりなど、やるべきことを見つけて取り組んでいたのが良かったです。三時間目に模擬面接を行いました。とても緊張しました。二学期も暑さに負けず過ごしていきたいです。

《担任より》

暑中、一学期が終わりました。ただ、三年生の夏は休みがなく大変です。進路に向けてやるしかないですね。

《コメント》

三年生は、進路決定に向けてみんながんばろう！

本校の危機防災 管理について

本校における危機管理とは、

「生命や心身等に危害をもたらすさまざまな危険が防止され、万が一、事件事故が発生した場合に、被害を最小限にするために適切かつ迅速に対処すること」とし、

(1) 危機管理体制の整備

(2) 危機発生を未然に防止するための事前対策

(3) 危機発生への対応と再発防止に向けた対策を含めた、幅広い局面に対応していく取り組みとする。

としています。今年度の防災訓練は春と秋に二回予定しておりました。春は雨天により中止となりましたが、十月七日に行われた秋の防災訓練は晴天の中実施しました。村山市消防

職員の指導の下、消防器による消火体験も行われました。



葉山中地区PTA 奉仕活動に参加して

電子情報科三年 三浦 寛平

七月二

十一日、

一学期終

業式の日

私は、母

校の村山

市立葉山

中学校に

行きました。

奉仕

活動「花

の植栽」

のためで

す。

生徒が

十三名、

保護者の

方が三名、

先生が三

名、計十

九名で活

動しまし

た。

少々雨が降っていましたが、

私自身二回目の植栽はスムー

ズに進みました。昨年は残念

ながらコロナの影響で中止で

した。花苗をプランターに植

えることで、母校に貢献でき

て良かったです。



おしらせ

PTA校内事務局からのお知らせです。今年度の全国高P連島根大会は八月二十五日に開催されました。コロナ禍における開催となり大会事務局では分科会の様子をオンライン配信を今年いっぱい実施しています。六つの分科会のテーマはどれも生徒や保護者の皆様にも大変興味のあるものばかりかと推測いたします。これを機会に是非、ご家庭でご視聴いただけますようご案内申し上げます。ご視聴いただきました感想などお寄せ頂ければ幸いです。

PCからご覧になる方はURLをクリックしてください
【第1分科会】<https://youtu.be/3i.6Uw5mKc>
【第2分科会】<https://youtu.be/PPzbia2BV>
【第3分科会】<https://youtu.be/17-e1p9lLc>
【第4分科会】<https://youtu.be/7h8uzCmZp>
【第5分科会】<https://youtu.be/4HtQ1GMxTV>
【第6分科会】<https://youtu.be/gLKnQzBj5z>

↑パソコンからご覧の場合はURLはこちらから

←スマートフォンからご覧になるときのQRコードはこちらから

スマートフォンからご覧になる方はQRコードを読み取ってください。

第1分科会	第2分科会	第3分科会
「物語の心」は、物語の心をつかむことが目的です。物語の心をつかむことが目的です。物語の心をつかむことが目的です。	「正しく物語」を伝えることが目的です。正しく物語を伝えることが目的です。正しく物語を伝えることが目的です。	「物語の心をつかむことが目的です。物語の心をつかむことが目的です。物語の心をつかむことが目的です。」
第4分科会	第5分科会	第6分科会
物語の心をつかむことが目的です。物語の心をつかむことが目的です。物語の心をつかむことが目的です。	正しく物語を伝えることが目的です。正しく物語を伝えることが目的です。正しく物語を伝えることが目的です。	「物語の心をつかむことが目的です。物語の心をつかむことが目的です。物語の心をつかむことが目的です。」

部活動紹介【運動部編】

卓球部

私たち卓球部は、現在男子十一名、女子六名で、剣道場で活動をしています。

基礎的な練習を中心として、個人ごとの課題・弱点を克服し、大会で一つでも勝ち上がることを目標にして日々活動しています。

練習試合などでの実戦的な経験も踏まえながら力を蓄えていきたいです。

サッカー部

サッカー部では、一人一人が勝利を目標に日々練習に取り組んでいます。普段の練習では基礎に力を入れ、試合で生かせるように努力しています。また、次のメニューの準備や移動を素早く行い、練習を少しでも長くできるように心がけています。学校では先輩や先生にあいさつをするなど部活動以外のことも大切にしています。

男子ハンドボール部

男子ハンドボール部は、選手十名、マネージャー一名で活動しています。基本的に日曜日以外は練習しています。

男子ハンド部の目標は「県一位」です。経験者がいなく、高校からハンドボールを始めた選手ばかりですが、顧問の羽鳥先生・安孫子先生の指導のもと、「県一位」という目標達成に向けて頑張っています。

女子ハンドボール部

女子ハンドボール部は人数がとて少なく、今の活動は男子ハンドボール部と行っています。先輩方が頑張っています。この部を愛好会にしたいです。魅力を紹介します。速攻や連携プレイ、めまぐるしく攻守が入れ替るスピード感。高校から始める人が多い競技。入部待っています。

男子バスケットボール部

今年のバスケット部は、選手七人マネージャー六人計十三人で活動しています。今年は先生みんなが経験者というとても良い環境で活動できています。走るバスケをできるように普段の練習から走るメニュー

を多くしています。地区大会優勝目指して頑張っています。

剣道部

剣道部は男子四人、女子二人で活動しています。午前中の部活は防具をつけての練習午後の部活は形や体力づくりを行っています。コロナの影響で試合等が少ないですが、主に総体、新人戦に向けて練習に取り組んでいます。部員全員仲良しで笑顔が耐えません。剣道部で待っています。一緒に頑張りたいです。

硬式テニス部

硬式テニス部二年一人一年三人の計四人で活動しています。練習は皆で楽しくやっています。今後の大会では新庄東高校と合同チームで県大会出場できるようにがんばります。応援よろしくおねがいします。

自転車競技部

今年は、去年中止になったインターハイという目標に向けて毎日の厳しい練習をがんばってこれました。そしてインターハイに二人出場することができました。コロナ禍の中でインターハイという大きな大会を予定通りに行って頂けたことに感謝して、来年は入賞を目指して日々の地道な練習をがんばっていききたいです。

山岳部

山岳部では、平日は、歩荷をします。重りを背負い階段を昇降するというものです。夏の熱が体力をジリジリと削っていきます。また、休日は登山をします。一番の楽しみは山菜です。四季で採れる山菜が違うため、一年を通してかなりの数の山の幸を食べられます。山を安全に楽しみながら登り、大会でも多くの功績をあげている部活動です。

女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は二年生三人、一年生一人の四人で活動しています。今のところ、試合に出場することが難しいため目標が明確ではありませんが、日頃から基礎練習や筋トレを厳しめに行い、体づくりから技術の向上を目指しています。人数は少ないですが、コミュニケーションを大切にしながら頑張っています。

野球部

七月に開催された選手権大会においては多くの応援をいただきありがとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染拡大により中止になり、二年ぶりの開催となりました。選手は昨年度の選手の方まで心を込め、最後まで全力でプレイしてくれました。皆様の支えがあり大きく成長することができました。感謝いたします。

柔道部

私達柔道部は、県大会で一回でも多く勝ち上位入賞することを目標に日々の練習を頑張っています。練習では、一人一人が自分の課題を克服し大会で成績を残せるよう鍛錬を積みしたいと思います。

陸上競技部

陸上競技部は、個人が目標を持ち、自己ベストを超えるために全力で練習しています。記録だけでなく、人間としても成長することを忘れず、部員が互いに支えあつて、大会で挑戦していきます。

